

## 大船渡発

### ツバキ植樹で産業振興



大船渡の特産であるツバキの実の収穫量を増やして産業振興を図ろうとツバキの植樹が行われました。

大船渡市の戸田公明市長と大船渡を支援している化粧品メーカーの社員ら合わせておよそ30人が参加して62本のツバキを植えました。秋には椿油の原料になるツバキの実が収穫できる予定です。(6/7 ニュースエコー)

## 釜石発

### 復興スタジアムに木製シート



地元のスギで作った木製の座席の設置が始まりました。去年、市内で発生した山林火災によって表面が焦げたスギの木が活用されています。

この木製のシートは、およそ5000席、設置される予定です。(6/8 ニュースエコー)

## 宮古発

### あと10日 就航をPR

宮古市と北海道室蘭市を結ぶ定期フェリー就航まであと10日となったこの日、宮古市役所でカウントダウンイベントが行われました。山本正徳宮古市長が「岩手の玄関口としての役割を果たしていきたい」と挨拶。就航を祝う看板やノボリが掲げられるなか、広報車が出発し、間近に迫った第1便の出港をPRしました。(6/12 ニュースエコー)



## 釜石発

### W杯での活用視野に

海水を噴射して進む世界最大級のウォータージェットフェリーが釜石港に入港しました。来年のラグビーワールド



カップでの活用を視野に釜石市などが招きました。フェリーは広島県の会社が所有

していて、乗用車200台を積み込み時速およそ80キロの高速で進むことができます。市では車で訪れた観客の輸送手段など活用方法を検討することになっています。(6/12 ニュースエコー)

## 大槌発

### 解体を前に内部公開

津波で全壊した大槌町の旧役場庁舎の内部が報道機関に公開されました。旧庁舎は2014年に全体の7割が解体され、残っているのは町民課や税務課、議場などがあった鉄筋コンクリート2階建ての部分だけです。



町内には旧役場庁舎の保存を求める声もありますが、3月の町議会で解体予算が可決されていて、町は今年18日頃から解体工事に入る方針です。(6/13 ニュースエコー)

## 宮古発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

宮古ハーバーラジオの久保田祥子さんが、『宮古-室蘭フェリー』の就航と記念イベントについて伝えてくれました。就航日の6月22日(金)には宮古港、藤原ふ頭の宮古港フェリーターミナルで出航セレモニーが、23日(土)には室蘭発の便を出迎える入港記念行事が行われます。両日とも、来場者には記念タオルのプレゼントを用意されています。ぜひお越し下さいとの事でした。(6/13)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから<http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122